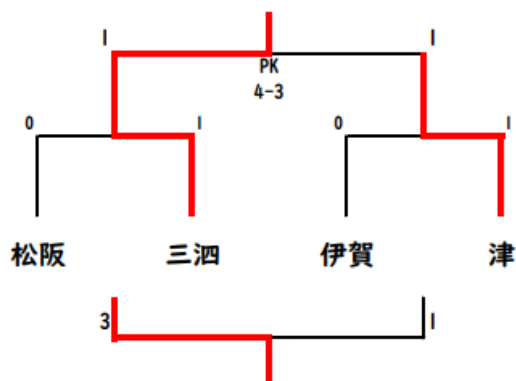


## 第6回三重県ジュニアユース (U-13) 地区トレセンサッカー大会

2023 (令和5) 年1月22日実施

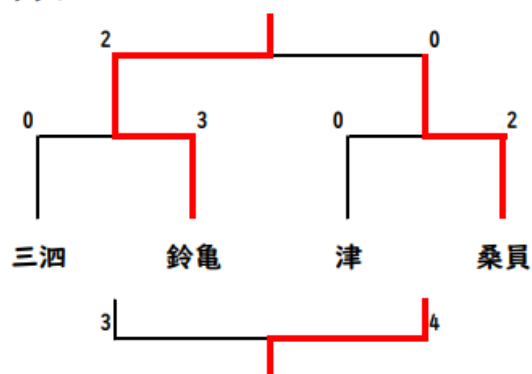
### <Aブロック>



### <Bブロック>

	鈴亀	南勢	桑員
鈴亀		○ 1-0	△ 0-0
南勢	× 0-1		× 1-3
桑員	△ 0-0	○ 3-1	

### <上位ブロック>



### <下位ブロック>

	松阪	南勢	伊賀
松阪		○ 3-0	○ 5-1
南勢	× 0-3		○ 3-2
伊賀	× 1-5	× 2-3	

### <最終順位>

優勝：鈴亀地区トレセン

準優勝：桑員地区トレセン

3位：津地区トレセン

### 「樋口 FA コーチ総評」

昨年行われた U11・U12・U14 と同様に、選手にとっても指導者にとっても非常に有意義な大会であることを感じた。選手達はジュニアユース年代になり、フィジカル的にも成長段階で個人差のあるなか、これまでよりもインテンシティが高い空間で、各地区のレベルの高い、いろんな特徴を持った選手達と戦う経験ができ、また、指導者はジュニアからジュニアユースに成長していく過程を理解し、試合を分析して選手にアドバイスやコーチングを行い、指導者として成長する機会があった。また、選手達は良い意味での勝負へのこだわりもあり、選手と指導者が一体感を持って戦っている姿が印象的であった。

技術戦術面では全体的にまずしっかりボールを奪おうとする姿勢があり、インテンシティは高いように感じた。特に鈴亀 TC は1人1人が自分の背後（コースとスペース）を意識しながらマークに対してアプローチできており、プレスバックによる挟み込みもみられた。また、前から奪いに行くための同時性がみられ、どこでボールを奪うのかというスイッチが共有されていた。ただ、ほとんどのチームがポジショニングやバランスといった面ではまだまだあまく、特にボールから逆サイドにいる守備者のポジショニングとどんな役割があるのかを理解させることが必要。

攻撃面に関しては、以前に比べるとノージャッジでプレーすることは少なくはなったが、まだまだ周りを観て判断するという習慣が徹底していない。特にチラ見によって相手を確認することができず、

相手と駆け引きしたり、ギリギリで判断を変えられないことによって、ボールを失っていた。この「観ること」と「判断の柔軟性」は育成年代で最も重要であり、そこにフィジカルとメンタルがついてくれば、選手は確実にレベルアップしていく。

スキル面でのチェックポイントは、まず、パススピードが緩い。ビルドアップするときの最終ラインや、サイドチェンジのボールなど、パススピードあればもっと良い局面をつくれていたのに、逆にプレスを受けてしまう状況になっていた。また、シュートを含め強いボールをしっかり蹴るというベースの部分が少し疎かになっていると感じる。

U13 という年代は今まで感覚的にやってきたサッカーを、理論的に理解して整理することが大切で、とにかく日常の練習から攻守の切り替えや1対1のバトルなど、厳しい環境を作り出していくことが必要。高いスキルベースやオフの準備、また、原理原則の理解が無ければ通用しない空間を、選手とともに指導者がオーガナイズしていくことが求められる。

そしてU13からU14へと成長していくなかで、基本的なベースを身につけながら、自分のストロングポイントを伸ばしていけるように繋げていきたい。